

長岡京市耐震化緊急促進アクションプログラム2024

1 目標

長岡京市建築物耐震改修促進計画に定めた目標の達成に向け、住宅所有者の経済的負担の軽減を図るとともに、住宅所有者に対する直接的な耐震化促進、耐震診断実施者に対する耐震化促進、改修事業者の技術力向上、一般市民への周知・普及等の充実を図ることが重要である。

このため、長岡京市住宅耐震化緊急促進アクションプログラム(以下「アクションプログラム」という。)では、毎年度、住宅耐震化に係る取組を位置付け、その進捗状況を把握・評価するとともに、プログラムの充実・改善を図り、住宅の耐震化を強力に推進することを目的とする。

2 位置付け

アクションプログラムは、京都府住宅・建築物安全ストック形成等整備計画(防災・安全)(第2期計画)に基づき策定する。

3 取組内容・目標・実績

計画	令和6年度取組内容	令和6年度目標
	【財政的支援】 ①住宅の耐震診断費に対する一部補助を実施 ②住宅の耐震改修費に対する一部補助を実施 【普及啓発等】 ①住宅所有者に対する直接的な耐震化促進 ・旧耐震木造住宅を中心にチラシを投函 ②耐震診断実施者に対する耐震化促進 ・耐震診断結果報告時にリーフレットの配布、説明等により耐震改修を促進 ・耐震診断後一定期間経過しても耐震改修を行っていない方に対して電話等による耐震改修促進を実施 ③一般への周知普及 ・広報紙やホームページによる耐震化の必要性や補助制度の周知 ・LINE等のSNSを利用した補助制度の周知 ・耐震フェア等の対面イベントによる耐震化の必要性や補助制度の周知 ・代理受領制度や制度拡充の内容を記載したわかりやすいチラシを新たに作成し、配架する	住宅に対する耐震診断費補助戸数:40戸 住宅に対する耐震改修工事費補助戸数:30戸 前年度までの実績 令和5年度 ・住宅に対する耐震診断費補助戸数 17戸 ・住宅に対する耐震改修工事費補助戸数 9戸 令和4年度 ・住宅に対する耐震診断費補助戸数 18戸 ・住宅に対する耐震改修工事費補助戸数 10戸 令和3年度 ・住宅に対する耐震診断費補助戸数 13戸 ・住宅に対する耐震改修工事費補助戸数 10戸
自己評価	前年度(令和5年度)の取組実績 ・広報紙(年2回)、ホームページでの補助事業の周知 ・耐震診断実施者に対する耐震改修工事費補助の案内 ・イオンモール桂川での耐震フェアの開催による補助事業の周知	前年度(令和5年度)の課題 ・物価高騰等の影響により、改修費用が高額になる傾向が見られ、令和4年度から実施数をあまり増加させることが出来なかった。
		改善策 ・チラシ投函など周知活動に取り組む。 ・耐震改修補助を時限的に拡充し、耐震化率を急速に上昇させる。 ・代理受領制度を導入し、補助金を事業者に直接支払うことにより住民の初期費用の負担を減らす。